

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費（外国籍児童への防災教育推進）事業（検討中）	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	01080118
担当部署	危機管理室	防災課	防災係	作成担当者名	平澤 浩二
				連絡先	182

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る	
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援	
				細施策	03	子育て・教育応援体制の確立	
				事務事業	06	外国籍児童への防災教育推進事業	
	予算事業名			会計コード	001	款 09 項 01 目 05 事業 01	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	外国籍児童に対して、防災に関する教育を推進します。					
	現状と背景 （どうして）	外国籍児童に対し、防災関係に関する情報の伝達ができていません。防災意識を高めてもらうための教育が必要です。					
	目的	対象	受益者 （誰のために）	外国籍児童			
		対象 （直接働きかける）	同上				
	目的	意図 （どんな状態にしたいか）					
		防災意識の高揚を図る。					
	手段・方法 （どうやって）	コミュニケーションがとれる体制を整え、外国籍児童の集まる場所への出前講座・防災講演会の開催					
N （ ）	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数						
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人						
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活 動 指 標 （ ）	-	目標	-				
		実績	-				
	-	達成率	%	-	-	-	-
		目標	-				
	-	実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
-	達成率	%	-	-	-	-	
	目標	-					
-	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標 （ ）	目標	-					
	実績	-					
-	達成率	%	-	-	-	-	
	目標	-					
-	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	一般経費（外国籍児童への防災教育推進）事業（検討中）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	01080118
担当部署	危機管理室	防災課	防災係	作成担当者名	平澤 浩二	連絡先	182

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持		③	⑥	⑨
			縮 小		④	⑧	⑩
			休 廃 止	①			
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						

記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当
	B：事業の進め方に改善が必要
	C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要
D：事業の統合、休・廃止の検討が必要	
前年度総合評価判定	
前年度評価シート整理番号	08010118

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	検討したが、必要性が認められないため、検討を終了する。	検討したが、必要性が認められないため、検討を終了する。
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦	成 果 的 拡 充						
		現 状 維 持		③	⑥	⑨		現 状 維 持					
		縮 小		④	⑧	⑩		縮 小					
		休 廃 止	①	レ				休 廃 止	レ				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	防災課長	柳 沢 正 広
---------	------------	---------	------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	外国籍市民支援事業			事業期間	平成 24 ~ 年度	整理番号	08010116
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	田中美和	連絡先	634
計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る		
			施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援		
			細施策	01	生活応援体制の確立		
			事務事業	01	相談事業		
予算事業名	多文化共生推進事業費				会計コード	001	款 10 項 05 目 01 事業 08
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅野市の国際化に対する方向性を示すことを目的とし、茅野市多文化共生・国際交流推進計画を策定する。</li> <li>外国籍市民が、言葉や文化の違いから生じる生活上の様々な課題を解決し安心して生活することができるように、相談窓口を設ける。また、生活情報に関する講座や日本語教室を開催する。</li> </ul>						
現状と背景 （どうして）	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生推進のため、すべての市民が互いの国籍や文化の違いを尊重し合い、地域社会の構成員として、共に安心して生活できる環境づくりを行うことが必要になる。</li> <li>外国籍の方の転入者数に変化は見られないが、生活に密着した情報は地域で生きていくために不可欠である。外国籍市民相談を開催していることにより、相談内容は把握しているが、相談業務を進めていく中で、どのようなことが求められているのか把握し切れていない部分がある。</li> </ul>						
対象	受益者 （誰のために）	外国籍市民					
	対象 （直接働きかける）	外国籍市民					
意図 （どんな状態にしたいか）	外国籍市民に日本の生活や文化を理解してもらい、自立した生活ができるよう支援する。						
手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生推進員を委嘱し、事業推進のため協力いただく。</li> <li>多文化共生推進員と連携し、外国籍市民に対しアンケートを行い、生活の状況やニーズについて把握する。</li> <li>外国籍市民の生活に必要な情報等について、生活情報講座を開催する。</li> </ul>						
	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値
活動指標	日本語教室	開催数	回				24
	生活情報講座開催	開催数	回				1
成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値
	日本語教室	受講者数	人				300
生活情報講座参加数	参加数	人				30	

実施状況	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	418,016	269,726	694,630
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	418,016	269,726	694,630	1,162,651	863,000
職員数	正規職員	人	0.15	0.10	0.11	0.11	0.11
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人	0.01	0.01			
合計	人	0.16	0.11	0.11	0.11	0.11	
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
状況	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
状況	市民一人当たりのコスト	円	7.00	5.00	12.00	21.00	31.00
	活動指標	開催数	目標	24	24	24	24
実績			24	24	24	24	24
達成率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
開催数		目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	0	1
達成率		%	100.00	100.00	100.00	0.00	100.00
—	目標	—	—	—	—	—	
成果指標	受講者数	目標	300	300	300	300	300
		実績	401	303	222	215	300
	達成率	%	133.67	101.00	74.00	71.67	100.00
	参加数	目標	30	50	30	30	30
		実績	28	40	30	0	30
	達成率	%	93.33	80.00	100.00	0.00	100.00
備考							

事務事業名	外国籍市民支援事業	事業期間	平成 24 ~	年度	整理番号	08010116
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	田中美和	連絡先
						634

期	目 標	実 績	課 題
第1期	多文化共生推進計画策定のために行う、外国籍市民を対象としたアンケートの内容について検討する。	アンケートの内容を決定し、多文化共生推進員による聞き取り調査を開始した。茅野市多文化共生・国際交流推進計画の内容検討を行った。	外国籍市民の住所地に赴き、聞き取りによる調査を行うため、一人当たりの調査に時間がかかる。また不在者も多い。
第2期	外国籍市民アンケートの実施	多文化共生推進員による聞き取り調査を行った。茅野市多文化共生・国際交流推進計画の内容検討を行った。	外国籍市民の住所地に赴き、聞き取りによる調査を行うため、一人当たりの調査に時間がかかる。また不在者も多い。
第3期	外国籍市民アンケートの実施及び集計 茅野市多文化共生・国際交流推進計画の策定	多文化共生推進員による聞き取り調査を行い、集計を行った。茅野市多文化共生・国際交流推進計画の内容検討を行った。	外国籍市民の住所地に赴き、聞き取りによる調査を行うため、一人当たりの調査に時間がかかる。また不在者も多い。
第4期	外国籍市民アンケートの考察 茅野市多文化共生・国際交流推進計画の策定	茅野市多文化共生・国際交流推進計画を策定した。	来年度以降、茅野市多文化共生・国際交流推進計画に沿って、どのように事業を実施していくことが有効か検討する必要がある。

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 本年度は、市内の全外国籍市民を対象に生活状況についての聞き取り調査を行うため、生活情報講座は実施しないことになった。	今 後 の 方 向 性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	方 向 性																
	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
拡 充	②	⑤	⑦														
現 状 維 持	③	⑥	⑨														
縮 小	④	⑧	⑩														
休 廃 止	①																

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	茅野市多文化共生・国際交流推進計画に沿って、今後どのように事業を実施するのが有効か検討する必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	01070118															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	茅野市に定住し、家庭を持って生活する外国籍市民にとって、自立した生活ができるよう支援していくことは、すべての市民にとって必要である。	茅野市に定住し、家庭を持って生活する外国籍市民にとって、自立した生活ができるよう支援していくことは、すべての市民にとって必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	多文化共生推進員と共にアンケートの内容を分析し、外国籍市民にとって必要な支援を検討する。	多文化共生推進員と共にアンケートの内容を分析し、外国籍市民にとって必要な支援を検討する。								
今 後 の 方 向 性	今 後 の 方 向 性									
方 向 性	方 向 性									
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	検診等多言語案内書作成事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	04030202
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援
				細施策	02	保健・医療・福祉応援体制の確立
				事務事業	03	健診・検診等案内書作成事業
	予算事業名	一般事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 01 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	乳幼児健診・予防接種・成人の検診に関する多言語案内を策定する。				
	現状と背景 （どうして）	現在健康カレンダーによる各種検診などの申し込みを行っているが、外国籍市民に理解されないため。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	外国籍市民		
		対象 （直接働きかける）	同上			
	意図 （どんな状態にしたいか）	乳幼児健診や予防接種、成人の検診に関する案内及び冊子を多言語に翻訳し、外国籍市民が健診等を受けられるようにする。				
	手段・方法 （どうやって）	ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語、韓国語の乳幼児健診及び予防接種の日程表、乳幼児健診・予防接種手帳、成人の検診案内を作成し、市民課、こども課、健康づくり推進課、健康管理センター、各SC、O123広場の窓口に置く。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		案内の作成	言語数	か国語	ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語、やさしい日本語	5
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		案内の作成	案内作成言語数達成率	%	作成言語数÷最終目標数	100

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	150,000			150,000	150,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	150,000			150,000	150,000	
	職員数							
	正規職員	人	0.05	0.05		0.05	0.05	
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.05	0.05		0.05	0.05		
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	3.00	-	-	3.00	10.00	
活 動 指 標 （ ）	言語数	目標	か国語	5	5	5	5	
		実績		5	5	5	5	
		達成率	%	100.00	100.00	-	100.00	100.00
	-	目標						
		実績						
		達成率	%	-	-	-	-	-
	-	目標						
		実績						
		達成率	%	-	-	-	-	-
	成 果 指 標 （ ）	案内作成言語数達成率	目標	%	100	100	100	100
実績				100	100	100	100	
達成率		%	100.00	100.00	-	100.00	100.00	
-		目標						
	実績							
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	検診等多国語案内書作成事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030202
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	過去に作成した、外国語を翻訳したものと、現在の予防接種予診票の違いを確認する	今まである翻訳された予診票と、現在の予診票と異なる部分を確認した	何語を作成していくことがよいか、検討する必要がある。
第2期	翻訳をお願いしたい部分を明確にし、翻訳する言語など翻訳業者との相談をしていく	翻訳をお願いしたい部分、お願いする言語について相談できた。翻訳の業者から、韓国語の需要はあまりないので、やさしい日本語にした方がよいとの提案があり、そのようにした。	予算の関係上、予防接種の予診票の部分のみお願いする。
第3期	翻訳業者と打ち合わせをしながら、校正をしていく	打ち合わせと校正を連絡を取りながらできた	大量にあるため、時間がかかる。
第4期	翻訳業者と打ち合わせをしながら、校正し、保健福祉サービスセンターのスタッフに周知する。	打ち合わせと校正を連絡を取りながらできた。母子保健検討会で保健福祉SC保健師に周知した。	乳幼児健診の間診票も、古いものとなっており、来年度作成していく必要がある。

事中評価																																									
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡</td> <td>充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現</td> <td>状</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方</td> <td>縮</td> <td>小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方</td> <td>向</td> <td>休</td> <td>廃</td> <td>止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向</td> <td>性</td> <td colspan="6">皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> </tr> </table>	今	成果	拡	充		②	⑤	⑦	後	の	現	状		③	⑥	⑨	の	方	縮	小		④	⑧	⑩	方	向	休	廃	止	①			向	性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
今	成果	拡	充		②	⑤	⑦																																		
後	の	現	状		③	⑥	⑨																																		
の	方	縮	小		④	⑧	⑩																																		
方	向	休	廃	止	①																																				
向	性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																							
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）																																									

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点																B
チェック				レ	3					4					4	

課題	外国籍市民の各国の登録者数に変動があり、その状況に応じて対応する必要がある。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定		
前年度評価シート整理番号	04030101	

総合評価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
伝えたい情報を集約し、5か国語作成した。	伝えたい情報を集約し、5か国語作成した。	伝えたい情報を集約し、5か国語作成した。
前年度改革・改善策の実施状況	実施済	前年度細施策評価における今後の方向性

改革・改善の方向性（ACTION）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果	拡	充			成果	拡	充		
今	後	の	方	向	性	②	⑤	⑦		
	方	向	性	③	⑥	レ	⑨			
	方	向	性	④	⑧	⑩				
	方	向	性	①						
					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				レ	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
改革・改善策	登録者数に応じて対応していきたい。乳幼児健診の間診票も新しい間診票にそった翻訳をしていく必要がある。	登録者数に応じて対応していきたい。乳幼児健診の間診票も新しい間診票にそった翻訳をしていく必要がある。								

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保育園における多文化共生教育推進事業	事業期間	平成 21 ~ 年度	整理番号	07020209
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	北澤 いずみ
				連絡先	622

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 07 第7章 心豊かな多文化共生社会を創る		
				施策 01 第1節 外国籍市民の生活応援		
				細施策 03 子育て・教育応援体制の確立		
				事務事業 05 保育園・小・中学校における多文化共生教育推進事業		
	予算事業名			会計コード 001 款 03 項 02 目 02 事業 02		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市に在住する外国籍市民は微減傾向にありますが、諸外国との人的交流はますます活発化しており、職場、学校、地域社会など日常生活のさまざまな場面で外国籍市民と密接なかかわりを持つ時代を迎えています。保育園においても外国にルーツを持つ児童の入園があり、園生活、習慣、言葉、食事等で適応しづらい事例が報告されることがあります。このため、園児や保護者に対して多文化共生教育や情報提供を行い、より豊かな生活が送れるよう取り組みます。				
	現状と背景 （どうして）	外国籍の子どもの入園が増えていることから、外国籍市民の子どもが入園したときにコミュニケーションが十分取れず、トラブルになることがある。また、母国語だけでなく、様々な言語に触れ合う経験や、様々な文化に触れる経験を乳幼児期においても、環境づくりを行う必要があるため。				
	目的	受益者 （誰のために）	園児、保護者			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	園児や保護者が、多様な背景を持つ人たちと共に暮らしていることを認識し、暮らしをより豊かにするために、お互いの違いを認め合い、互いに理解を深めあいながら協力できる多文化共生社会の実現を図ります。			
	手段・方法 （どうやって）	外国籍の園児に対しては、言葉が理解できないことによる発達への影響を考慮し、日本の生活習慣に慣れるよう支援を行います。また、ゆっくりとした日本語を使うことにより理解しやすくなるよう配慮します。日本人の園児に対しては、その子ども達のルーツの国の手遊びや歌、絵本などを紹介する機会を保育の中に取り入れ、相手の文化を尊重する機会を提供します。外国籍の保護者に対しては、生活習慣の違いから起こる課題に対して丁寧で分かりやすい対応に努めます。また外国籍園児が在籍する園の日本人保護者に対しては、異文化の紹介等を計画的に行い理解促進に努めます。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		活動指標	外国文化関連の体操、歌、リズム遊び、読み聞かせの実施	実施率	%	実施回数/保育園数×4回
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外国籍園児保護者の安心度	安心度	%	100-（トラブル件数/外国籍保護者数）	100

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
実 施 状 況	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職員数	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	嘱託職員 臨時職員	人					
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
対象（者）数	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	1.00
	実施率	目標 % 実績 % 達成率 %	100 60 60.00	100 200 200.00	100 121 120.80	100 120 120.00	100 120 120.00
活動指標	-	目標 - 実績 - 達成率 %	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
	-	目標 - 実績 - 達成率 %	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
成果指標	安心度	目標 % 実績 % 達成率 %	100 98 98.00	100 100 100.00	100 100 100.00	100 100 100.00	100 100 100.00
	-	目標 - 実績 - 達成率 %	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
備考							

事務事業名	保育園における多文化共生教育推進事業	事業期間	平成 21 ~	年度	整理番号	07020209	
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	北澤 いずみ	連絡先	622

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・園長会で事業を周知 ・外国籍の新入園児とその保護者に対する配慮	・園長会で取組みについて協議 ・各園外国籍園児の状況把握	・具体的な活動内容の検討と実施 ・外国籍保護者へ1日保育士体験の参加の促し
第2期	・日々の保育の中における活動実施 ・外国籍の園児・保護者が楽しく園生活を送る ・外国籍保護者の1日保育士体験の参加	・ロングモント市交換留学生との交流 ・体操や歌の中で外国語を楽しむ ・世界の国々に興味もてる環境づくり	・ロングモント市の学生との交流内容について、他園でも活かせることを検討
第3期	・日々の保育の中における活動実施 ・外国籍の園児・保護者が楽しく園生活を送る ・外国籍保護者の1日保育士体験の参加	・体操や歌、絵本の中で外国語を親しむ ・ハロウィンかぼちゃの展示 ・クリスマス会の実施	・遊びの中で親しめるように、環境を整える。
第4期	・日々の保育の中における活動実施 ・外国籍の園児・保護者が楽しく園生活を送る	・体操や歌、絵本の中で外国語を親しむ ・オリンピック参加国や選手への関心を深める。 ・台湾高雄市の視察	・遊びの中で親しめるように、環境を整える。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 英語の歌や体操等を取り入れることについて、多文化共生教育推進事業として意識づけが必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 園長会で周知し、多文化に触れる保育内容を継続して実践する。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生教育を意識をして保育内容の中に工夫して取り入れているが、職員会等で時折、共通認識を していくことで多文化に触れられることにつながっていく。</li> <li>・外国籍の入所がある中でパンフレットの活用や保護者を巻き込んだ交流をしながら異文化に親しみ日本 の文化や生活習慣に慣れるようにする。</li> <li>・外国籍の保護者の1日保育士体験参加率が向上していない。</li> </ul>															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	06020211															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・遊びの中に多文化共生教育を意識した活動を取り入れることが定着してきた。英語の絵本の読み聞かせ、体操、遊びなどに取り入れることで子どもたちが、多文化に触れて楽しむ機会が多くなってきている。 ・外国籍の園児がスムーズに園生活を送ることができるようにするための支援を継続して行っていく。	・遊びの中に多文化共生教育を意識した活動を取り入れることが定着してきた。英語の絵本の読み聞かせ、体操、遊びなどに取り入れることで子どもたちが、多文化に触れて楽しむ機会が多くなってきている。 ・ロングモントの交流以外に、台湾視察を受け入れる中で、多くの言語に触れる機会を持つことができた。 ・外国籍の園児がスムーズに園生活を送ることができるようにするための支援を継続して行っていく。								
前年度改革・改善策の実施状況	実 施 済									
	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後										
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性															
改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生教育を意識して取り組み、日常の保育や生活・遊びに取り 入れた保育環境を作ることで、生活や心をより豊かにしていくことが 期待できる。</li> <li>・保護者を巻き込んだ交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣 れることをするために、外国籍の保護者に対し、積極的に声掛けを し、1日保育士体験の参加や、お互いの文化を認め合える場を提供す る。</li> <li>・日常の保育や生活・遊びの中に英語や中国語等の言語を取り入れな がら、外国の文化に触れたり、興味を持つことで、生活や心をより豊 かにしていくことが期待できる。</li> <li>・保護者を巻き込んだ交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣 れることをするために、外国籍の保護者に対し、積極的に声掛けを し、1日保育士体験の参加や、お互いの文化を認め合える場を提供す る。</li> </ul>															

最終評価年月日	平成30年5月17日	最終評価責任者	幼児教育課長	五味留美子
---------	------------	---------	--------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	多言語生活情報誌の発行事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	08010115
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	田中美和
				連絡先	634

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援
				細施策	05	地域情報発信体制の確立
				事務事業	02	多言語生活情報誌の発行事業
	予算事業名	多文化共生推進事業費			会計コード	001 款 10 項 05 目 01 事業 08
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	外国籍市民が自立した日常生活を送れるよう、生活応援事業として、生活上必要な情報を提供するために生活情報誌を作成する。				
	現状と背景 （どうして）	外国籍市民への情報発信体制が整っていないため、市からの情報が外国籍市民へ届いていない。社会の仕組みを理解し、自立した生活をするための手助けとして、分かりやすい生活情報誌が必要である。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	外国籍市民			
		対象 （直接働きかける）	外国籍市民			
	手段・方法 （どうやって）	外国籍市民が職場、学校、地域の中で不安なく自立した生活ができ、生活範囲も広がる。 生活に必要な情報として、保健、福祉、教育、税金、市内施設等について説明をした生活情報誌を作成し、茅野市役所、市関係施設、諏訪中央病院に配置している。また、市民課窓口で転入した外国籍市民世帯に配布するほか、保育園等からの要望に応じて提供する。この他、外国籍市民サポートグループ「ねこじゃらし茅野」を通じて、外国籍市民が集まる場所（食材店・教会等）に配置している。 平成26年度までは5か国語（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語）のみだったが、平成27年度にやさしい日本語版の情報誌を作成し、5か国語を話さない外国籍市民に対しても対応している。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		5ヶ国語による生活情報誌による支援	情報誌発行数（5カ国語）	冊		750
		やさしい日本語による生活情報誌による支援	情報誌発行数（日本語）	冊		150
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
生活情報誌配布数		配布数	冊	（日本語+5か国語）×150部	900	

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ ）	事業費等 (a)	円	16,770	82,000	73,000	61,000	161,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	16,770	82,000	73,000	61,000	161,000	
D （ ）	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託職員	人						
O （ ）	臨時職員	人	0.03					
	合計	人	0.08	0.05	0.05	0.05	0.05	
O （ ）	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	0.00	1.00	1.00	1.00	10.00	
	活動指標	情報誌発行数（5カ国語）	目標	800	750	750	750	500
			実績	800	700	700	500	500
		達成率	%	100.00	93.33	93.33	66.67	100.00
		情報誌発行数（日本語）	目標	—	150	150	150	100
	実績		—	100	100	100	100	
達成率	%	—	66.67	66.67	66.67	100.00		
成果指標	配布数	目標	900	900	900	900	600	
		実績	650	650	650	500	600	
	達成率	%	72.22	72.22	72.22	55.56	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
備考								

事務事業名	多言語生活情報誌の発行事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	08010115
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	田中美和	連絡先
						634

期	目 標	実 績	課 題
第1期	組織改編に伴い、現在のガイドブックの担当課の変更、内容の見直しを行う。	担当課や内線番号、内容の見直しを行った。	生活情報ガイドブックの配置場所について検討する必要がある。
第2期	生活情報ガイドブックの印刷、配置を行う。相談窓口で紹介するなど、ガイドブックの周知する。	諏訪中央病院に生活情報ガイドブックを配布した。	生活情報ガイドブックは必要であるが、インターネット、ライン等において、情報収集を行う人も増えている。
第3期	生活情報ガイドブックの印刷、配置を行う。相談窓口で紹介するなど、ガイドブックの周知する。	諏訪中央病院に生活情報ガイドブックを配布した。	生活情報ガイドブックは必要であるが、インターネット、ライン等において、情報収集を行う人も増えている。
第4期	生活情報ガイドブックの印刷、配置を行う。相談窓口で紹介するなど、ガイドブックの周知する。	諏訪中央病院に生活情報ガイドブックを配布した。	来年度は生活情報ガイドブックの全面的な見直しを行う。

事 中 評 価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性																				
外国籍市民は同国人同士のやり取りで情報収集することも多い。しかし、間違った情報や理解も多いため、生活情報ガイドブックや外国籍市民相談を利用することが必要と思われる。																					
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡 充				現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
成果の方向性	②	⑤	⑦																		
拡 充																					
現 状 維 持	③	⑥	⑨																		
縮 小	④	⑧	⑩																		
休 廃 止	①																				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																					

評価年度	当年度
------	-----

評 価 年 度	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課 題	生活情報ガイドブックは、市民課の外国人登録窓口や、各地区の保健福祉サービスセンター、地区コミュニティセンターなどに配置しているが、配布冊数が減っている。内容の見直しが必要な部分が見受けられる。															記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定															
	前年度評価シート整理番号 01070117															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		外国籍市民が日本において自立した生活を送るためには、日本の制度や生活習慣を理解する必要があり、茅野市が発行している生活情報ガイドブックは、その手助けとなる。茅野市役所で行われる手続き等の際も有効である。								
	外国籍市民が日本において自立した生活を送るためには、日本の制度や生活習慣を理解する必要があり、茅野市が発行している生活情報ガイドブックは、その手助けとなる。茅野市役所で行われる手続き等の際も有効である。									
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成果の方向性	②	⑤	⑦	③	⑥	⑨	④	⑧
	拡 充									
	現 状 維 持									
	縮 小									
	休 廃 止	①								
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活情報ガイドブックに掲載されていない専門的な内容は、担当課で対応するため、案内をする。必要な場合は、多文化共生推進員がサポートする。</li> <li>平成24年度から毎年利用できる内容にして、各課の事業内容や制度が変更になった時にその部分だけ修正する。</li> <li>母国語の他に「やさしい日本語」も作成し、外国籍市民が母国語だけに頼らず、日本語も習得できるきっかけを作る。</li> </ul>									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活情報ガイドブックに掲載されていない専門的な内容は、担当課で対応するため、案内をする。必要な場合は、多文化共生推進員がサポートする。</li> <li>平成24年度から毎年利用できる内容にして、各課の事業内容や制度が変更になった時にその部分だけ修正する。</li> <li>母国語の他に「やさしい日本語」も作成し、外国籍市民が母国語だけに頼らず、日本語も習得できるきっかけを作る。</li> </ul>									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	家庭児童相談員設置事業費（外国籍の子どもとその家庭への応援事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07010305
担当部署	教育委員会 子ども部 子ども課					連絡先	615
		子ども・家庭相談係	作成担当者名	長 田 香 織			

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る							
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援							
				細施策	03	子育て・教育応援体制の確立							
				事務事業	08	外国籍の子どもとその家庭への応援事業							
	予算事業名	家庭児童相談員設置事業			会計コード	001	款	03	項	02	目	01	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	外国籍の家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上に関する相談業務の充実を図る。												
現状と背景 （どうして）	茅野市においても外国籍の家庭による児童育児の問題について、本人の問題というよりも、家族の問題が児童に影響を及ぼしているケースが多い。言葉の問題もあり、内容も複雑化してきている。他機関と連携をして問題の解決にあたる事が多い。												
目的	対象	受益者 （誰のために）	児童養育上の諸問題を有する外国籍の家庭										
	対象	対象 （直接働きかける）	児童養育上の諸問題を有する外国籍の家庭										
的	意図 （どんな状態にしたいか）	児童養育上の相談、家庭・身上の相談等について、問題解決にあたる。											
手段・方法 （どうやって）	1 家庭相談員を配置し、電話や直接の相談に応じるための相談しやすい体制作りを行う。 2 問題解決のため、関係する各機関と連携をとり（通訳等）連絡調整を行う。（必要が生じれば出向いて対応する。）												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		相談件数の増加	相談件数	件	年度における相談件数				200				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		相談の解決の割合	相談終了数	件	相談件数と終了した数を見る				100				

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円								
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円								
一般財源	円								
職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.03	0.30			
正規職員	人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20			
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人	1.50	1.50	1.50	1.23	1.50			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	—	—	—	—	98.00			
D （ ）	活動指標	相談件数	目標	件	200	100	50	50	50
			実績	件	11	26	33	32	50
	達成率	%	5.50	26.00	66.00	64.00	100.00		
	目標	—							
	実績	—							
	達成率	%	—	—	—	—			
O （ ）	成果指標	相談終了数	目標	件	200	100	50	50	50
			実績	件	2	17	18	27	50
	達成率	%	1.00	17.00	36.00	54.00	100.00		
	目標	—							
実績	—								
達成率	%	—	—	—	—				
備考	育児の問題については解決できることが多いが、家族の問題や精神の問題については、継続して関わることが多い。 平成17年度より相談件数は実数でカウントする。								

事務事業名	家庭児童相談員設置事業費（外国籍の子どもとその家庭への応援事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07010305
担当部署	教育委員会 子ども部 子ども課	作成担当者名	長	田	香	織	連絡先
							615

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・外国人相談担当と情報交換する。	・進捗状況の確認(4月～5月)	・相談票の整理
第2期	・進捗状況の確認	・進捗状況の確認(8～9月)	・相談票の整理
第3期	・進捗状況の確認	・進捗状況の確認(10～12月)	・相談票の整理
第4期	・進捗状況の確認	・進捗状況の確認(1～3月)	・相談票の整理

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 進行管理表を入力し、進行管理することで関係機関との連携をとりながら、 支援の放置防止が行えている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 連絡の取れない相談者について、保育園や学校等に子どもの状況を確認し、必要に応じて訪問を行う。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定							
チェック					4					レ					3						4	B
いろいろな国籍の人が相談に来るため、対応に苦慮している。特に日本語が通じない外国人について、どのようにコミュニケーションをとっていかかが課題である。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																					
	前年度総合評価判定										B											
	前年度評価シート整理番号										06010305											

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	ブラジル、フィリピンをはじめ多国籍外国人からの相談があり、文化の違い等から相談し内容も複雑化してきている。市の外国籍市民相談やNPO法人、県の協力を得ながら事業を進めていくことが必要である。	相談業務を行う中で通訳が必要となるケースが多くなっているが、緊急時等の対応は有料となってしまう。（外国籍市民相談日以外の対応） また、継続支援も必要となっているケースが増えている。								
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	外国語の相談窓口の案内を作成し、県の通訳、NPO法人等の協力を得て相談を進めていく。 将来的にはNPO法人への委託を考える。	外国語の相談窓口の案内を作成し、県の通訳、NPO法人等の協力を得て相談を進めていく。 生涯学習課による外国籍市民相談と連携して行く。								

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	子ども課長	五味健志
---------	------------	---------	-------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	セミナー開催事業	事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	05020230
担当部署	産業経済部 商工課	作成担当者名	牛山重喜	連絡先	434

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 07 第7章 心豊かな多文化共生社会を創る 施策 01 第1節 外国籍市民の生活応援 細施策 04 労働環境応援体制の確立 事務事業 01 セミナー開催事業		
	予算事業名			会計コード 001 款 項 目 事業		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			外国籍市民等を雇用している各企業において、企業活動に必要な日本語教育及び日常生活に関する教育等のセミナー開催等を行う。		
	現状と背景 （どうして）			外国籍の市民を雇用している各企業で、日常生活に必要な日本語教育などを行うのは難しい状況である。市として外国籍の方が生活する上で必要な日本語教育を受けられる場を提供するなど、関係機関と連携して日常生活及び労働環境を整備する必要がある。		
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者	外国籍市民及び企業	対象 （直接働きかける）	外国籍市民及び企業
手段・方法 （どうやって）			外国籍市民の日常生活に必要な日本語の習得や生活習慣の理解により、企業内でコミュニケーション等労働環境の改善が図られ、業務に効率化が期待される。			
N （ ）	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	活動指標	外国籍市民相談	開催件数	件	市民相談の開催件数	12
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外国籍市民相談	相談件数	件	市民相談における労働、くらしに関する相談件数	*

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人							
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円		-	-	-	-	-	
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円		-	-	-	-	-	
D O （ ）	活動指標	開催件数	目標 件	12	12	12	12	12
		実績 件	12	12	12	12	12	
		達成率 %	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標 件	-					
		実績 件	-					
		達成率 %	-	-	-	-	-	
	成果指標	相談件数	目標 件	183	166	265	261	261
		実績 件	-					
		達成率 %	-	-	-	-	-	
	-	目標 件	-					
実績 件		-						
	達成率 %	-	-	-	-	-		
備考	*相談件数の目標設定は、本事業には馴染まないため設定しない。実績のみ記載する。							

事務事業名	セミナー開催事業	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	05020230
担当部署	産業経済部	商工課	商業労政係	作成担当者名	牛山重喜	連絡先
						434

期	目 標	実 績	課 題
第1期	外国籍市民相談の実施	外国籍市民相談の実施	
第2期	外国籍市民相談の実施	外国籍市民相談の実施	
第3期	外国籍市民相談の実施	外国籍市民相談の実施	
第4期	外国籍市民相談の実施	外国籍市民相談の実施	

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 拡 充 後 の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	現状では、外国籍市民相談等を活用して、安心して生活するための様々な情報提供している。企業向けの外国籍市民に関するセミナーの開催等については、専門知識等開催は難しい。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	04030342															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
		外国籍市民相談等相談窓口の案内等により、日常生活での不安を和らげ、安心して仕事ができるようになる。 H30年度からは、外国籍市民相談等相談窓口の案内等により、関係部署と連携して外国籍労働者や事業所を支援していきたい。					外国籍市民相談等相談窓口の案内等により、日常生活での不安を和らげ、安心して仕事ができるようになる。 H30年度からは、外国籍市民相談等相談窓口の案内等により、関係部署と連携して外国籍労働者や事業所を支援していきたい。								
	前年度改革・改善策の実施状況					実 施 済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( ACTION )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 拡 充		②	⑤	⑦	成 果 拡 充			
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	外国籍市民相談等相談窓口の案内等により、関係部署と連携して外国籍労働者や事業所を支援する。					外国籍市民相談等相談窓口の案内等により、関係部署と連携して外国籍労働者や事業所を支援する。				

最終評価年月日	平成30年5月31日	最終評価責任者	商工課長	上田佳秋
---------	------------	---------	------	------